

2024年(令和6) 西原町平和月間

「平和の約束2024」

”音楽文化”を通して平和の尊さを考え、平和の心を醸成するとともに幅広い世代に向けて平和意識の高揚に努めることを目的に、音楽イベントを開催します。

主催 西原町 共催 西原町教育委員会 日時 6月23日(日) 慰霊の日(午後3時半開場) 午後4時開演 入場無料
場所 西原町さわふじ未来ホール 問 企画財政課 ☎945-4533



西原町子ども会
育成連絡協議会



坂田小学校音楽部



海勢頭豊



かりゆし58



石坂美砂



喜楽星7

※プログラム
司会: KEN子

- 1.平和の語りべ:アーカイブ動画の放映
- 2.坂田小学校音楽部
- 3.西原の子ども達からの平和のメッセージ
- 4.群読 読みあいネットワーク喜楽星7
- 5.海勢頭豊
- 6.石坂美砂
- 7.かりゆし58

※詳細は西原町HP等でお知らせします。
※混雑することが予想されます。公共交通機関の利用等にご協力ください。

整理券を
配布します
6月23日 午後2時から
お一人様 一枚配布
町保健センター
(町役場内)

★「平和の約束 2024」エンディング写真の作品募集★

「平和の約束 2024」のエンディングで、エンドロールに掲出する写真作品を募集します。
詳しくは西原町HPをご覧ください。



親子平和バスツアー

親子で町内外の戦災跡地等を訪ね、戦争の悲惨さと平和の尊さについて実地で学習することで、平和に対する意識の高揚を図ります。

日時 8月(予定) 場所 西原町・読谷村(予定)
問 企画財政課 ☎945-4533



令和5年度 親子平和バスツアー



令和5年度 親子平和バスツアー

文化課事業 平和企画展・資料展

平和企画展「沖縄戦時下の西原で」

昭和20年、沖縄戦で激戦地だった西原。沖縄戦時下で西原がどのような状況だったのか、地図や写真、当時の証言、戦争遺物をあわせて展示します。

日程 6月21日(金)～9月8日(日)(休館日:毎週月曜日・公休日・慰霊の日・第3木曜日)
場所 西原町立図書館エントランスホール
問 文化課文化財係 ☎944-4998

平和資料展 平和関係書籍の紹介

日程 6月13日(木)～6月30日(日)(休館日:毎週月曜日・公休日・慰霊の日・第3木曜日)
場所 西原町立図書館図書室
問 文化課図書館係 ☎944-4996

チョークアート

町内の生徒や学生によって創作された「平和」をテーマにしたチョークアートを町民に広く見ていただくことで、作品に込められた平和の思いを共有し、平和な社会の実現を目指す機運を醸成します。

日時 11月(予定) 場所 町民ギャラリー
問 企画財政課 ☎945-4533



令和5年度チョークアート展の様子



過去の展示の様子

本町は、去る沖縄戦で激戦地となり、住民の約半数が尊い人命を失い、また多くの貴重な財産や、歴史的資料が灰燼に帰しました。そのために、町民の反戦平和を希求する心はとりわけ強いものがあります。沖縄戦終結から79年を迎えた今日、戦争体験者の減少、戦後世代の増加と相まって、戦争の歴史的教訓が年々風化しつつあります。そこで、本町では毎年6月を「西原町平和月間」と位置づけ、各種平和事業を通して、あの忌まわしい、沖縄戦の悲劇と教訓を忘れず、後世に語り継ぎ、幅広い世代に向けた平和に対する意識の啓発・高揚に努めます。

戦争遺跡展

沖縄戦体験者は年々減少して、沖縄戦の「記憶」を語ることができるのはあと数年と考えられる。戦争世代が人口の1割を切り、戦争を知らない世代が増える中、二度と惨禍を繰り返さないために沖縄戦の記憶をどう継承していくか問われている。「無言の語り部」ともいわれる戦争遺跡のパネル展を通じて、戦前、戦時中の状況を今に伝え、平和への思いを深める機会とします。

主催 西原町 共催 西原町教育委員会
日時 6月19日(水)～7月3日(水)
場所 町民ギャラリー
問 企画財政課 ☎945-4533



公益質屋跡の弾痕(伊江村)



座喜味の掩体壕跡(読谷村)



161.8高地陣地の
戦闘指揮所・陣地壕跡群
(中城村)

西原町戦没者追悼式

本町では、先の大戦で犠牲になられた方々のご冥福と恒久平和を願って、西原町戦没者追悼式を毎年10月に開催して参りました。

今年度より「西原町平和月間」の期間中、6月22日に開催期日を変更し、引き続き恒久平和を願う思いへ繋いでいきます。

日時 6月22日(土)午後2時
場所 西原の塔 問 福祉課 ☎945-4791



西原の塔

沖縄県下の不発弾処理の概況

沖縄戦終結から79年。先の大戦で使用された弾薬量は、約20万トンとみられており、その5%の1万トンが不発弾として残されたと推定されている。そのうち、復帰までに住民などによって約3,000トン、米軍によって約2,500トンが処理され、復帰後は自衛隊によって令和4年度までに約2,122トンが処理されたが、永久不明弾500トンが見込まれるとしても、なお1,878トン余の不発弾が埋没されていると推定される(消防防災年報令和4 抜粋)。

市町村別不発弾等発見届出件数(昭和54～令和4年度)33,559件

市町村	件数
那覇市	7,640
浦添市	4,216
糸満市	3,532
西原町	2,520
南城市	2,193



1993年(平成5)池田で発見された
不発弾(資料提供 屋良勝彦)

生涯学習課事業(中央公民館 平和事業) 第32軍司令部壕模型展

第32軍司令部壕模型が西原町で観れます。

第32軍司令部壕は昭和20年に首里城地下につくられた、総長距離が1,000mと推定されている司令部壕です。沖縄本島での凄惨な地上戦が行われ、司令部壕の主要部分と抗口(壕への出入口)が破壊されました。現在の司令部壕は、天井等の崩落があり、安全面により立ち入ることができませんので、今回の第32軍司令部壕の全体模型をご覧いただき、戦争の悲惨さや平和の尊さを考える機会になればと思います。

期間 令和6年 6月3日(月)～6月28日(金)
場所 西原町中央公民館 1階ロビー
問 生涯学習課 ☎945-3657



第32軍司令部壕模型展

牛島貞満氏講演会 開催

牛島貞満氏: 牛島満第32軍司令官の孫。
祖父が持久戦を選択した理由を探りながら沖縄戦の実相を学び、ともに考えていきたいと県内の学校などで講演会を行いつつ司令部壕の保存・公開に向けても取り組んでいる。

テーマ「南部撤退と32軍壕」
日時 令和6年6月22日(土)14時開催
場所 西原町中央公民館 大ホール

主催: 第32軍司令部壕の保存・公開を求める会
【お問い合わせ】 中央公民館 ☎945-3657